

障がい等地域支援ブロック会議報告(平成24年6月～平成24年10月)

月	参加機関数	参加者数	担当機関名	事例	検討内容	意見	課題
6	21	27人	自立生活センター 宇部	こだわりと思ひ込みが強くヘルパー事業所の交替が頻繁な脳性麻痺の身体障害者への支援について	ヘルパーの支援内容に強いこだわりがある。小さなミスでも事業所の管理者に注意する。頻繁にあるためヘルパー事業所の業務に支障が生じる。その結果ヘルパー事業所から交替を申し入れられるため、同じ事業所で長く支援ができるためにはどのような対応をすればよいか。	本人の意識付けが大切である。例えば、ヘルパー事業所を交替するときには交替の理由をきちんと説明する事、支援内容を再確認する事が上げられる。また自分で出来る事は自分でしてもらおう。その場で気になる事はいつてもらおう。支援内容の再確認。ヘルパーが出来る事と出来ない事をきちんと伝える。	
7	19	24人	ひろくんの家	糖尿病があるにもかかわらずコントロールが不十分であることと新しい人との関係を築きにくい人への支援について	本人は食べるのが好きで運動は拒否。生活介護利用時にはある程度コントロールできているが自宅では自由に生活をしていて糖尿病のコントロールが上手くいっていないため、どのようにすれば本人の意識を高められるだろうか。また、新しい利用者や職員を仲間に入れようとしていない。少しずつ新人間関係を築くにはどのような支援をしていけばよいか。	医療との連携をはかり、現在の体の状態を把握し、生活上の注意点を確認。 本人に対しては、カロリー表の作成をしたり食べていいものとそうでないものを図式して分かりやすくする。 運動の時間という改まった時間を設けるのではなく、自然な形で運動ができるようにする。例えば、本人の好きな音楽を流して自然と身体を動かせるように環境づくりをする。 また、本人に生活介護での役割を持たせる。新規利用者の世話役を任せることで新しい人との人間関係を築くことができるのではないかと思われる。	

障がい等地域支援ブロック会議報告(平成24年6月～平成24年10月)

月	参加機関数	参加者数	担当機関名	事例	検討内容	意見	課題
8	16	24人	ハイツふなき	宿泊型自立訓練利用中の身体表現性疼痛障害の方の地域生活でのプラン作りについて	身の回りの事は自分で出来る。以前一人暮らしをしていた事もあるが、ストレスで体調を崩して入院をした。本人はサービスの利用を拒否している。地域での生活プランをどのように整えていけばよいか。	福祉サービスよりも緊急対応ができるような支援体制作り(相談支援・行政・民生委員など)を日ごろからしておく。また、本人と以前一人暮らしをしていた事を振り返り、イメージ作りをする。本人の強み(囲碁・将棋が得意)を活かせるような日中の過ごし方を考える。家族からの協力が得られにくい人については支援者間で連携を深めておき、入院時や緊急時には家族と連絡が取れる体制にしておく。	(ア)障害福祉サービス事業所に、安心して地域で生活できるように日常生活全般にわたる支援の調整について相談する機関の情報が届いていない。 (イ)障害福祉サービス事業所に、本人の強みを活かせる場所を探し出す方法の情報が届いていない。
9	18	27人	高嶺園	高圧的な態度をとり、周囲から孤立しているアルコール依存症の方への支援について	プライドが高く、周囲に対して高圧的な態度をとるため、家族や近隣からも孤立している。本人からの情報しかなく、本人が「個人情報だから」と言い十分なアセスメントが出来ないため、どのようにすればよいか。 また、夕方に寂しさを訴える事が多く関係機関への電話が頻繁。時には飲酒した状態で電話をかけてくることもある。頻繁にある電話への対応はどのようにしたらよいか。	アセスメントに対しては、支援者からいろいろと質問攻めにするのではなく、本人と支援者との信頼関係をまず築き、本人から自分の事を自然に話してもらえらるまで待つ。また、本人の要望があった時に、それとなく聞き、自然な形で本人の思いを聞いてみる。 ある程度ルール(時間帯を決める、飲酒したときは電話を短くする)を設ける。寂しが増す時間帯にヘルパー支援を入れる。	
10	18	25人	片倉病院	入院中の統合失調症の方が地域での一人暮らしに向けて生活環境を整えるための支援について	一般就労をしており、収入もある程度あるが金銭管理が上手でなく本人はお金がないと訴える。また、自宅はゴミで一杯で片付けられない。人間関係の悪化や怠薬により入退院を繰り返している。自宅アパートで1人で安心した生活をしていくために入院中からどのような支援をしていけばよいか。	病院だけではなく、地域の支援体制をつくる。職場での人間関係が悪化しないように普段から相談できる体制を整えておく。誰にとつての「安心した生活」なのか、本人とよく話しをしてみる。	(ア)精神科病院に、安心して地域で生活できるように日常生活全般にわたる支援の調整について相談する機関の情報が届いていない。 (イ)精神科病院に、地域での相談体制の整え方の情報が届いていない。